

『放射線治療を受ける患者の看護』 研修会実施報告

日時 : 令和4年6月20日(月) 13:15~17:15

対象者 : ラダーⅢ~Ⅳを目指すもの

参加者数 : 24名 一般参加者1名

目標 : 放射線治療の看護に必要な知識を習得し看護実践に活用することができる

<講師の紹介>

外来診療科

H 係長



<内容>



今回の研修では、放射線の種類や治療方法などの基礎知識から、看護ケアの方法までを詳しく教えていただきました。

放射線治療を受ける患者の看護は、腫瘍の消失を目的に行う「根治的治療」や再発予防を目的とする「予防的治療」と「緩和的治療」などの治療目的を理解することから始まります。目的に応じた治療をしていく中で、長期に渡る治療を継続し完遂するには、精神的な支援と共に、患者が納得して治療が受けられるよう患者の思いを理解することが大切です。起こりうる有害事象を予測し、患者さん自身が予防行動をとれるよう

支援することもまた重要であり、照射量や照射部位に合わせたケアが必要となることを理解することができました。研修生からは「有害事象として消化器症状があればNSTと連携し苦痛が少なく食事摂取ができるように検討したい」「皮膚状態の観察や清潔ケア、湿布や保湿剤の選択や相談を行っていきたい」「晩期症状を意識し観察していく」などの意見がありました。

今回の研修で放射線治療の専門的な知識を深めることができました。一人ひとり違う有害事象に対して、苦痛や不安に寄り添った支援ができるよう研修での学びを実践していただきたいと思います。